



↑多くの来場者でにぎわう長島町ブース

## 関西かごしまファンデー 県内出身者らでにぎわう

3月3日、大阪市で第15回関西かごしまファンデーが開催され、本町からも川添町長や職員らが出展し、約35,000人の県内出身者らでにぎわいました。

会場となる京セラドームでの開催は今回が最後となることから、県内各市町村の出展業者は特に気合いの入った様子で、場内は終日熱気に包まれました。本町ブースでは、人気の焼酎や赤巻、ツノンボ（あくまき）など約60種の特産品を関西ながしま会（金磯清隆会長）の会員と一緒に販売。イベント終了の約1時間前には完売する盛況ぶりをみせました。

金磯会長は「今回も出身者のほか、多くの関西圏内の人たちに地元長島をPRできた」と喜んだ様子でした。

## 体力アップ! チャレンジかごしま 鷹巣中が学校賞を受賞

県教育委員会の体力向上推進事業「体力アップ! チャレンジかごしま」で、鷹巣中学校の取り組みが積極的な学校へ贈られる学校賞を受賞し、3月11日に受賞式が町総合町民体育館で行われました。

この事業は、生徒の運動習慣の育成や体力向上を図るために県教育委員会が実施しているもので、長縄跳びを使った種目などに学級単位で競い合うものです。

鷹巣中学校は昨年に引き続き2年連続の受賞という快挙を成し遂げました。



↑表彰を受ける生徒代表



↑受賞を受けた上窪館長（前列右から2番目）

## 北薩摩の地域振興褒章 田尻自治公民館が受賞

3月13日、県北薩地域振興局で「北薩摩の地域振興褒章」の表彰式が開催され、田尻自治公民館（上窪正志館長）が表彰を受けました。

同公民館では「農地を守り、自然を守り、潤い満ちた集落形成」を目指し、担い手への農地集積やさまざまな集落行事を企画し、活力ある地域づくりに貢献した功績が認められ、今回の受賞となりました。